

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

全日本少林寺流空手道連盟 錬心館第53回全国空手道 選手権大会における結果報告

8月3日（日）に鹿児島県で開催された「一般社団法人全日本少林寺流空手道連盟錬心館第53回全国空手道選手権大会」において、少林寺流空手道錬心館山口県地区本部の選手13人が入賞され、その結果報告のため、副市長を表敬訪問されました。



▲記念撮影の様子

一般男子の部で優勝された宮本大夢選手は、「この度の結果につなげることができたのは、いつも熱心にご指導いただいているコーチや、共に練習をしてきた仲間たち、家族をは

じめサポートしてくださった方々の支えがあったからこそだと思う。今回の結果におおらず精進していきたい」とあいさつされ、その他の出席された12人の選手たちも、大会の感想や今後の目標を語られました。

副市長は「皆さんの活躍が本市の元氣や本市全体のスポーツの発展にもつながるため、これからも練習に励みながら、次の目標に向かって進んでいただきたい」と、エールを送りました。

図スポーツ交流課 ☎ 083・934・2875

韓国・昌原市訪問団が本市 を訪問されました

チヤンウォン

韓国・昌原市と本市は、令和6年11月16日に姉妹都市締結15周年を迎えました。相互交流の一環として、昨年は山口市長を団長とする公式訪問団と山口市バレーボール選手団の派遣を行い、本年は昌原市訪問団と昌原市バレーボール選手団の皆さんが8月22日（金）から24日（日）まで本市を訪問されました。

22日（金）に開催した、山口市・昌原市姉妹都市締結15周年記念式典で、市長は「本市としては、このた

びの訪問が、お互いの心と心が通じ合う、両国の未来に向けた発展的な交流となり、そして、友情の輪がさらに広がる機会となるよう期待している」と述べ、訪問団を歓迎しました。

朴眞烈^{パクジンニョル}昌原市経済雇用局長は「平成21年の姉妹都市締結以来、両市は文化・スポーツ・経済・青少年教育など、さまざまな分野で互いに学びながら協力してきた。今後も両市の堅固な友情を次の世代へと引き継いでいけることを願っている」とあいさつされました。

23日（土）は山口市・昌原市姉妹都市締結15周年記念小学生親善交流バレーボール大会を開催し、両市民がバレーボールの交流試合を通じ、友好を深めました。



▲バレーボール大会の様子

図国際交流課 ☎ 083・934・2725

「山口市移住サポートセンター すむ住む相談所」を開設しました

9月1日（月）、本庁舎（山口総合支所）3階の農山村づくり推進課内に、「山口市移住サポートセンターすむ住む相談所」を開設しました。



▲移住を考えている方の相談に対応する様子

すむ住む相談所は、本市への移住等を考えられている方がより訪問しやすく、相談しやすい環境を整えた総合相談窓口として、移住に係る支援制度の案内や、住まい・しごと・子育て等の相談対応を行います。また、地域課題の解決に取り組まれている団体の情報や、地域のイベント情報等を収集し、地域に関わりたいと考えられている方への紹介も行っています。

図農山村づくり推進課 ☎ 083・934・4646

令和7年度に100歳を迎えられる方に祝状と祝金を贈呈しました

敬老の日を前に、本年度100歳を迎えられる方を代表して、9月3日（水）、秋穂地域在住の三好修治さんをお祝いするため、市長がご自宅へお伺いして祝状と祝金をお渡ししました。

受け取られた三好さんは、「これまで1世紀という長い間元気に過ごしてこられたのは、地域の皆さんや全国の皆さんのおかげ。厚く感謝申し上げます。」と述べられました。



▲三好さんのご趣味である写真と俳句を紹介される様子

三好さんの長寿の秘訣は、無理をしないことやストレスをためないことに気を付けながら、野菜や魚などいろいろなものを食べて、自分の身体は自分で大事にすることだそうです。また、ご趣味である写真や俳句を披露してくださり、三好さんがこ

れまでに作られた俳句をまとめた「句集 蒼い海」を市長にプレゼントされました。

9月1日（月）現在、本年度に本市で新たに100歳を迎えられる方は87人で、101歳以上の方は171人おられます。

図 高齢福祉課 ☎083・934・2793

山口市地域おこし協力隊 着任式を行いました

本市では、都市圏在住者等を「地域おこし協力隊」として任用し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし活動を行いながら、協力隊の定住・定着を図ることを目的とした取り組みを進めています。

このたび、仁保地域において「仁保の農産加工技術を『受け継ぎ』『伝え』『伝える』」をテーマに活動する澤志保さんが着任されることから、9月3日（水）に着任式を行いました。

市長は「澤さんが着任される仁保地域は、平成13年に農林水産省主催の農林水産祭のむらづくり部門で天皇杯を受賞したことのある、人情に厚く、優しさ溢れる地域。また、来年は道の駅「仁保の郷」がリニューアルオープンするので、しっかりと活用いただき、頑張っていたきたい」と

と激励しました。



▲記念撮影の様子

澤さんは「仁保地域は、日本の原風景が残っており、今後ますます貴重な場所になっていくと思う。そのような場所で、地域の方が守ってきた伝統を引き継ぎ、後世に伝えられるよう、私も頑張りたい」と今後の抱負を述べられました。

図 農業振興課 ☎083・934・2815

全国中学校体育大会 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会における優勝報告

大内中学校3年生で山口市立所属の柏田琉依さんが8月20日（水）に沖縄県総合運動陸上競技場で行われた「令和7年度全国中学校体育大会 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会」男子100mにおいて、全国優勝されたため、市長を表敬訪

問されました。

柏田さんは「予選ではスタートを失敗してしまっただが、決勝ではそのミスを修正し、良いタイムで優勝できた。今後は、中学校日本記録の更新を目指して頑張りたい。そして、将来は世界で戦える選手になりたい」と述べられました。



▲記念撮影の様子

市長は「100mを10秒台という記録で全国優勝され、大変驚き嬉しく思う。この記録は、柏田さんの持つて生まれた才能と、それを鍛えてくれたコーチ、応援してくれる家族の皆さんの力が合わさった結晶。これからも柏田さんを支え、応援してくれている方への思いを胸に頑張っていたきたい。そして、将来は自分の大いなる夢に向かって羽ばたいてほしい」と、エールを送りました。

図 学校教育課 ☎083・934・2862